

研究課題名	抗線維化薬ニンテダニブ使用例における予後因子を探る多施設共同後方視的研究
研究期間	実施許可日 ～ 2026 年 5 月 31 日
研究の対象	2015 年 7 月から 2025 年 5 月 31 日までに広島大学病院呼吸器内科、県立広島病院呼吸器内科、広島市立広島市民病院呼吸器内科、市立三次中央病院呼吸器内科のいずれかでオフエブカプセルによる治療を受けられた間質性肺炎の患者さん
研究の目的・方法	研究目的：間質性肺炎に対してオフエブカプセルを使用した際に、どのような因子が患者さんの生命予後の改善に寄与するのかを明らかにすることです。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、オフエブカプセルを服用した患者さんの内服状況や肺機能の推移、年齢、性別等の因子と生命予後との関係を調べます。
研究に用いる試料・情報の種類	情報： 年齢、性別、診断名、病気の発症日、オフエブカプセルの内服開始日とその用量、オフエブカプセルの用量を変更した日とその用量（該当する場合のみ）、ニンテダニブ最終処方日、肺機能検査結果、身長、体重、最終的な転帰およびその日付 情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科分子内科学 教授 服部登
利用または提供を開始する予定日	2025 年 3 月 27 日
個人情報の保護	情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。個人と連結させるための対応表は、各機関の研究責任者が厳重に管理します。
外部への試料・情報の提供	広島大学から他機関への情報提供はありません。 共同研究機関から広島大学への情報提供は、パスワード設定したエクセルデータをメール送信によって行います。
研究組織	本学の研究責任者 広島市立広島市民病院 呼吸器内科 主任部長 庄田浩康 研究機関の長 県立広島病院 病院長 板本敏行 広島市立広島市民病院 病院長 松川啓義 市立三次中央病院 病院長 永澤昌 研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科分子内科学 教授 服部登 共同研究機関

	県立広島病院呼吸器内科 副院長・呼吸器センター長・石川暢久 広島市立広島市民病院呼吸器内科 主任部長・庄田浩康 市立三次中央病院呼吸器内科 医長・栗屋禎一
その他	本研究の研究資金には運営費交付金を充当する予定です。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島市立広島市民病院 呼吸器内科 担当者：庄田浩康 〒730-8518 広島県広島市中区基町 7-33 電話番号：082-221-2291